

競技注意事項

1. 本大会は、2017年度日本陸上競技連盟規則によって行う。
2. 招集時間は競技開始40分前より始め、トラック競技は20分前、フィールド競技開始30分前までに完了する。ただし棒高跳は競技開始1時間前より始め、50分前までに完了する。
3. 招集に遅れたものは棄権とみなし、出場を認めない。
4. この大会のスタートは、イングリッシュコマンドを用い不正出発1回失格を適用する。
5. ナンバーカードを胸部・背部に必ずぬいつけること（跳躍種目は片側だけでもよい）。また、トラック種目については、腰ナンバーカードを使用するので、右腰やや後方にきちんとつけること。なお腰ナンバーカードは回収するのでレース終了後ただちに取りはずし、係の者にわたすこと。
6. トラック競技の走路順はプログラム記載通りである。800 m競技においては、出発係の指示に従うこと。また、フィールド競技の試技順序も同様である。
7. 選手の変更はいっさい認めない。
8. 使用器具は、原則として競技場備え付けのものを使用する。「ポール」は私物を使用してもよい。ただし検査を要する。
9. リレー競技のオーダー用紙提出については、招集完了時刻の1時間前とする。

10. バーの上げ方

(男子)	走高跳	練習	(1.60) (1.80)	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88
				……以後 3 cm ずつ						
	棒高跳	練習	(3.50) (4.00)	3.60	3.80	4.00	……以後 10 cm ずつ			
(女子)	走高跳	練習	(1.25) (1.50)	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	
				……以後 3 cm ずつ						
	棒高跳	練習	(2.00) (2.50)	2.00	2.20	2.40	2.60	……以後 10 cm ずつ		

11. 各種目の得点は1位6点、2位5点、……6位1点とする。
12. 県大会出場者は各種目6名とする。(ただし、本年度県総体にて個人6位入賞または、リレーで4位までのチームはシード選手として県大会出場となる。)
13. 県大会出場者は最終日終了までに学校ごとに出場手続きを県大会受付けで行うこと。
14. 投てき練習は審判員の指示に従って行う。
15. 全天候トラックであるので、トラック・フィールド共スパイクのピンは長さ9 mm以下を使用すること。ただし、走高跳・やり投は12 mm以下のものを使用すること。
16. 3日間競技終了後ただちに閉会式を行うので、総合6位及びトラック、フィールド3位までに入賞した学校は残ること。
17. ハンマー投において入賞者のうち男子33 m 女子20 m 以上を記録できなかった選手については、その場で県大会予選の試技をおこなう(3投)。
18. 競歩において入賞者のうち、男子については28分以内、女子については33分以内を記録できなかった選手については、県大会には出場できない。

◎女子5000m競歩は35分、男子5000m競歩については30分で打ち切る。

19. 本陸上競技場での練習は、競技開始15分前までとする。但し、準備を優先するので、注意して行うこと。